



～学校支援地域本部は地域に作られた学校の応援団です～

2022年12月22日

一年の世相を漢字一字で表現する「今年の漢字」は「戦」！日本漢字能力検定協会より12月12日、京都・清水寺で発表されました。ロシアのウクライナ侵攻、コロナウィルス感染との戦いが続いたこと、北京オリンピック・カタルw杯での日本選手の「挑戦」「熱戦」が選出の理由とのこと。地域の皆様にとって、令和4年は、どのような1年でしたでしょうか？世界情勢・気候変動等、不安材料も多くありますが、下を向くことなく笑顔で前に進んでいきたいですね。来年が皆様にとって、喜びいっぱいの年になりますように！地域の子どもたちが笑顔いっぱいの年になりますようにお祈りいたします。

## 11/24 第1回高森中学校 学校運営協議会

仙台市教育委員会より8名の地域委員に任命書が授与されました。仙台版コミュニティスクールについての説明をいただいた後に、森校長先生から学校経営の全体構想(グランドデザイン)をお話いただき、学校教育目標『未来に向かってたくましく伸びていく 徳・体・知の調和のとれた 人間性豊かな生徒の育成を目指す』に向かって、学校と保護者と地域が協同して地域の子



どもたちの健全な育成に携わっていくことを確認しました。高森中学校の生徒が沢山の出会いから様々なことを学んでいけるよう、草賀哲夫委員長を中心に委員の方々が知恵を絞り、人脈を駆使して学校運営をサポートしてくださることを大いに期待したいと思います。

## 12/14 第5回学校運営協議会～高森小コミュニティスクール～

今回は、各学年の授業に委員が分かれて参観させていただき、その後、グループごとにそれぞれが受けた授業の感想を共有しました。3年生の体育「跳び箱運動」では、タブレットで撮影して、すぐに自分が飛んだ様子を見れることに驚き、1年生でもChromebookを使いこなしている姿に感動したり、コロナ禍で加速した情報機器を使った授業に委員全員が感心した様子でした。

どの学年も楽しそうに興味を持って授業を受けていることに安堵しましたが、それを支える先生方のご苦勞は如何ばかりかと教育現場の大変さも実感いたしました。先生方が教育に専念できるように保護者と地域がどう関わっていくかの熟議が益々必要ですね。



## 12/8 高森小 スチューデントシティ「子ども体験プラザ」

6年生が仙台アエル8階にある「仙台子ども体験プラザ」にて体験学習に行ってきました。児童は仙台市役所、セコム、ヤマト運輸、NTT 東日本、ゼビオスポーツ、ローソン、七十七銀行、河北新報社、菓匠三全、アイリスオーヤマの何れかの企業に配属され役職が決められます。実際に「利益を上げるためにはどうするか」の社内会議では、意見を出し合い目標を設定して、それぞれが与えられた仕事に取り組みました。保護者・地域のボランティアも各ブースのサポートに入り、児童と一緒に活動しましたが、戸惑いながらも徐々にセールスにも慣れ、仲間と力を合わせて目標を達成したことへの満足そうな顔を見せてくれました。最後の各社の代表児童の感想もとても立派で「仕事の大変さがわかりました。お父さん、お母さんが、頑張ってくれていることに感謝の気持ちになりました」との言葉に感激しました。



## 12/15 高森児童センター おはなしの会



## 12/17 高森東児童センター 冬のあったかコンサート



【おはなしもこもこの皆さん】



【子育て支援クラブ・ベルクラブ】

～みなさま 良いお年を お迎えください～

高森中学校区学校支援地域本部発行の広報誌「ALL TAKAMORI is for CHILDREN」は毎月末に発行し、高森小・高森東小の全ご家庭と地域回覧で皆様にお届けしています。高森中学校ホームページ「お便りコーナー」からもご覧いただけます。

高森中学校区学校支援地域本部スーパーバイザー 横山倫子

